

生物多様性  
について  
考える2日間!!



2+

一部講演  
LIVE 配信

生物多様性フォーラム初日を飾る基調講演

AEON  
協力:イオン環境財団



「ダニ博士」でおなじみ

五箇 公一

国立環境研究所  
生物多様性領域室長

専門は保全生態学、農業科学、ダニ学。  
著書に『これからの時代を生き抜くための生物学入門』  
『終わりなき侵略者との闘い 増え続ける外来生物』など。



元 井の頭自然文化園園長

成島 悦雄

日本動物園水族館協会顧問

NHKラジオ「子ども科学電話相談」動物担当。  
著書に『珍獣図鑑』『大人のための動物園ガイド』など。  
令和5年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞。

時間	内容	発表者 ※敬称略
10:45~11:00 LIVE 配信	開会挨拶	千葉市動物公園園長 鎬木 一誠
11:00~11:55 LIVE 配信	<b>大池の生物調査を踏まえた今後の保全計画について</b> 昨年度実施した大池の生物調査によって、大池内部や大池周辺には、多種多様な生物が生息していることがわかってきました。 その結果を踏まえて、今後はどのように保全していくのか、今年度の活動の進捗状況を加え、お話していきたいと思ひます。	持続可能な生態系を考える環境共育研究会 (RGEEA) 代表理事 木村 幸一郎
13:30~14:25	<b>サブカルから見る・生物多様性の意義</b> 「生物多様性」・非常に重要な環境キーワードでありながら、その意味や意義に関する理解はなかなか難しいと思ひます。 そこで、この講演では、私の趣味であるSF映画やアニメ、フィギュアといったサブカルの世界を通して、生物多様性とは何か?なぜ重要なのか?私たちはどのように生物多様性に向き合っていくべきなのか?という疑問について徒然なるままに語ってみたいと思ひます。	国立環境研究所 生物多様性領域 室長・教授 五箇 公一
14:25~15:20	<b>21世紀の動物園の役割と大池整備の関係</b> 動物園は長年、野生動物を身近に観察できるリクリエーションの場として市民に愛されてきました。しかし野生動物の生息環境は人間の経済活動が原因で悪化の一途をたどっています。 この動きにストップをかける必要がありますが、そのために動物園ができることは何か、大池整備の在り方も含めて皆さんと考えてみたいと思ひます。	日本動物園水族館協会顧問 成島 悦雄
15:20~15:50	<b>生物多様性を保つために動物園や来園者にできること</b> スペシャル対談	五箇 公一 × 成島 悦雄

3日

7 演題  
LIVE 配信

千葉市動物公園と連携する学生による研究発表

時間	内容	発表者 ※敬称略
12:30~12:45	開会挨拶・プログラム紹介	千葉市動物公園 園長 鎬木 一誠 ・ 研究員 中山侑
12:45~13:45	百聞は一見に如かず・僕らが見たボルネオの姿	ひの自然学校 ボルネオフレンドキャンプチーム
13:50~14:05	千葉市動物公園のゴリラにおける環境エンリッチメントー植樹による行動変化の解析ー	東邦大学 理学部 学部4年生
14:05~14:20	ニホンザルの個体差に関わる遺伝子の解析	東邦大学 理学部 学部4年生
14:20~14:35	飼育下の樹上性霊長類の活動に及ぼす来園者の影響	茨城大学 農学部 学部4年生
14:35~14:50	飼育下の地上性・半地上性霊長類の活動に及ぼす来園者の影響	茨城大学 農学部 学部4年生
14:55~15:10	ハシビロコウ(しずか)の産卵実録!	北里大学 獣医学部 学部4年生
15:10~15:25	動物園来園者への観察支援が動物への興味・関心に及ぼす影響	東京農工大学院 農学府 修士課程2年生
15:25~15:40	陸上脊椎動物161種の酸味選好性	千葉大学大学院 園芸学研究科 博士前期課程1年生